スカパーJSAT

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス
会社説明会

2024年2月24日

証券コード：９４１２（東証プライム）

SKY Perfect JSAT Group

本日の説明内容

1. スカパーＪＳＡＴの概要
2. 事業紹介
3. サステナビリティ
4. 株主還元

このプレゼンテーション資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の予測、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しは、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が見通しと著しく異なる可能性があります。

1. スカパーＪＳＡＴの概要
2. 事業紹介
3. サステナビリティ
4. 株主還元

スカパーＪＳＡＴの歩み

	宇宙事業	メディア事業
1985	日本通信衛星(株) (株)サテライトジャパン 宇宙通信(株)	
1993	(株)日本サテライトシステムズ	
1994		パーフェクTV！企画会社
1995		日本デジタル放送サービス(株)
1996		ジェイ・スカイ・ビー(株)
1998		日本デジタル放送サービス(株)（サービス名 スカイパーフェクTV！誕生）
2000	ＪＳＡＴ(株) 東京証券取引所第一部上場	(株)スカイパーフェクト・コミュニケーションズ 東京証券取引所マザーズ上場 その後一部へ市場変更
2007	経営統合｜持株会社であるスカパーＪＳＡＴ(株)設立｜東証一部上場	
2008	持株会社社名変更｜(株)スカパーＪＳＡＴホールディングス スカイパーフェクト・コミュニケーションズ、ＪＳＡＴ、宇宙通信が合併し「スカパーＪＳＡＴ(株)」誕生	
2022	2022年4月　東京証券取引所　プライム市場へ移行	

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

持株会社｜㈱スカパーＪＳＡＴホールディングス

（東証プライム上場：9412）

中核事業会社｜スカパーＪＳＡＴ㈱

（100%子会社）

- 宇宙事業
  - ＪＳＡＴ MOBILE Communications ㈱
  - ＪＳＡＴ International Inc.
- メディア事業
  - ㈱スカパー・カスタマーリレーションズ
  - ㈱スカパー・ブロードキャスティング
  - ㈱スカパー・エンターテイメント

持分法適用関連会社
- ㈱Space Compass

連結子会社 8社
持分法適用の非連結子会社 6社
持分法適用の関連会社 23社

2023年3月末時点

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

スカパーJSATグループの事業規模

宇宙事業

アジア最大 **衛星通信事業**

JSAT 衛星保有機数 **17機**
（2024年1月末現在）

メディア事業

日本最大 **有料多チャンネル放送**

スカパー! 加入件数 約 **271万件**
（2024年1月末現在）

（2022年度通期実績）

連結営業収益	連結営業利益	連結当期純利益
1,211億円	223億円	158億円
（宇宙 47%｜メディア 53%）	（宇宙 83%｜メディア 17%）	（宇宙 83%｜メディア 17%）

※比率は事業セグメント間取引含む。

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

宇宙ビジネスを取り巻く最近の動向

2021年1月　内閣府「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」方針決定

2021年7月　Blue Origin、Virgin Galactic日帰り宇宙旅行に成功

2023年4月　日本の宇宙スタートアップ企業「ispace」上場

2023年6月　内閣府「宇宙基本計画」改訂。2030年市場規模を2倍の8兆円へ

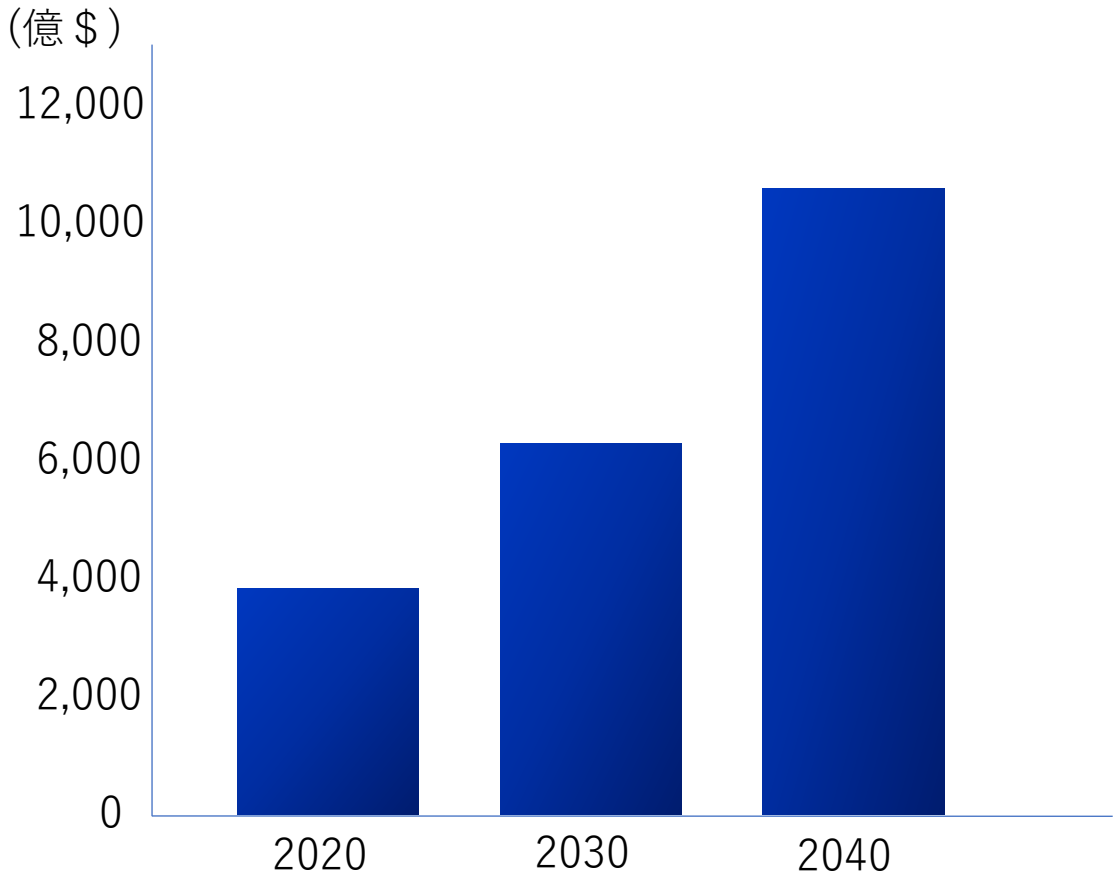
2023年9月 政府「中小企業イノベーション創出推進事業（SBIRフェーズ3）」
で宇宙スタートアップ16社に最大388億円支援

2023年10月 内閣府「経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）」
宇宙・航空領域が重要技術として研究開発構想に選択

2023年12月 地球観測小型衛星ビジネス「QPS研究所」上場

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

■ 宇宙ビジネス全体の市場規模は2040年までに150兆円規模に



出所: Haver Analytics, Morgan Stanley Research forecasts
https://www.morganstanley.com/ideas/investing-in-space

宇宙活用ビジネス

- ✓ 通信・放送
- ✓ 地球観測
- ✓ 宇宙状況把握

衛星開発・製造

衛星運用

宇宙進出ビジネス

- ✓ 宇宙旅行・移住

探査・資源開発

宇宙基盤ビジネス

- ✓ 輸送
- ✓ 軌道上サービス

ロケット・宇宙船

宇宙ごみ除去

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

SKY Perfect JSAT Group

SPACE

新技術の活用と
事業領域拡大

1,500億円
以上

2030年セグメント利益目標　210億円

MEDIA

映像体験を超える
新領域への進出

500億円
以上

2030年セグメント利益目標　50億円

新領域に2,000億円以上の投資を予定

2030年に当期純利益250億円超を目指す

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

1. スカパーＪＳＡＴの概要

2. **事業紹介**

3. サステナビリティ

4. 株主還元

SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

SPACE
宇宙事業

衛星通信事業の**拡大**

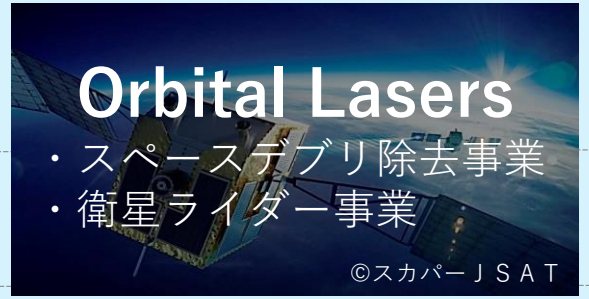
月	宇宙探査用通信
静止軌道（36,000km）	静止衛星通信 －HTS※1 －SDS※2 －光データ中継
低軌道（~1,000km）	低軌道衛星通信
成層圏（20km）	HAPS※3通信
地上・海	地上局サービス インフラ運用受託

拡大

拡大

拡大

新領域事業の推進



エンドユーザー
政府、自治体、民間企業、研究機関

※1　HTS：High Throughput Satellite
※2　SDS：Software Defined Satellite
※3　HAPS：High Altitude Platform Station（高高度プラットフォーム）

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

衛星通信事業の拡大

月	宇宙探査用通信
静止軌道（36,000km）	**静止衛星通信** **－HTS※1** **－SDS※2** **－光データ中継**
低軌道（~1,000km）	低軌道衛星通信
成層圏（20km）	HAPS※3通信
地上・海	地上局サービス インフラ運用受託

拡大

新領域事業の推進

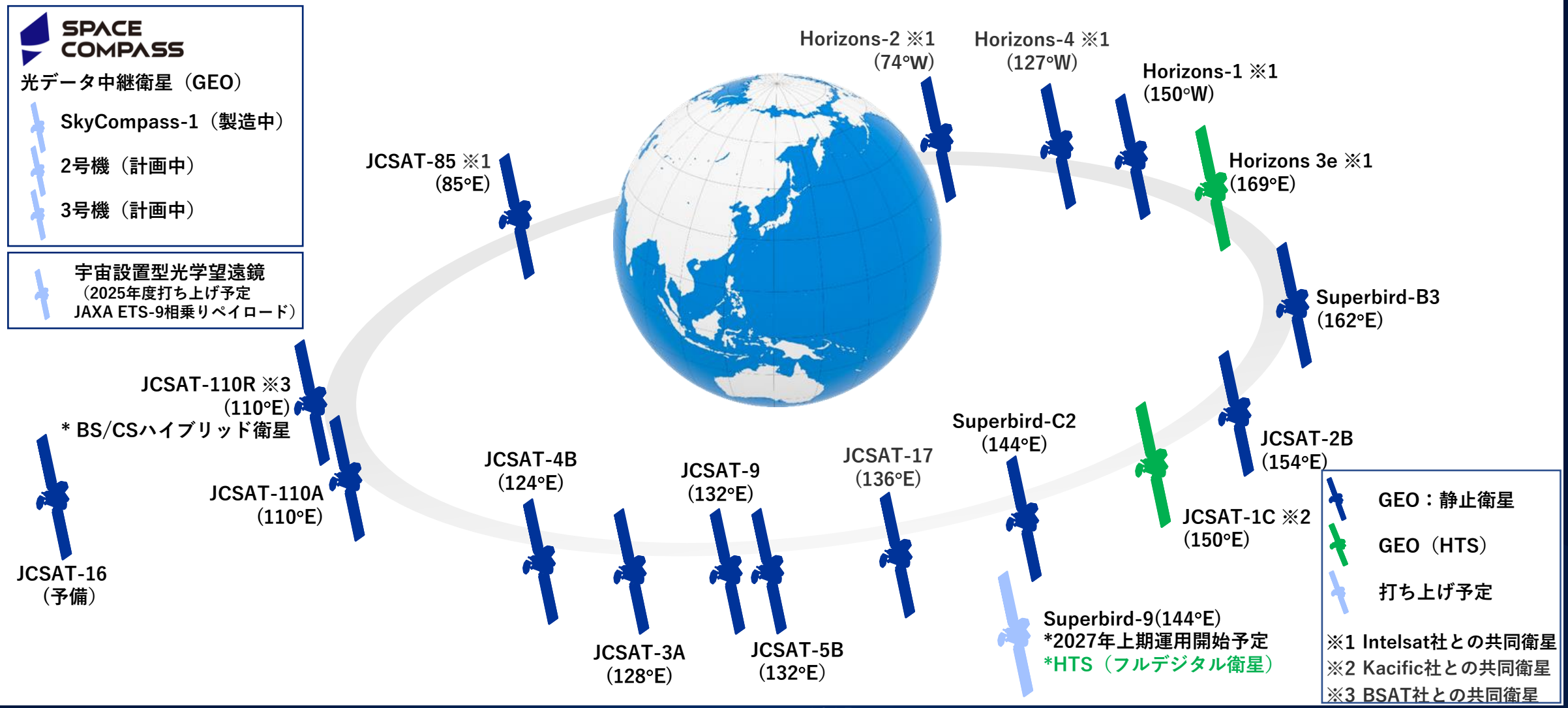
エンドユーザー
政府、自治体、民間企業、研究機関

※1　HTS：High Throughput Satellite
※2　SDS：Software Defined Satellite
※3　HAPS：High Altitude Platform Station（高高度プラットフォーム）

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

北米上空からインド洋上空まで 計17機 の衛星を保有

2024年2月現在



© 2024 SKY Perfect J S A T Group

宇宙事業の収益構成

（2022年度営業収益）

622
億円

48% 国内衛星通信

官公庁・自治体・公共インフラ企業への通信回線（災害対策・安全保障）
携帯電話のバックホール回線等

26% グローバル・モバイル

船舶・航空機向け衛星回線提供
海外市場

23% 国内衛星放送

スカパー！放送事業者への衛星回線提供

3%　新領域

＜今後の収益拡大のポイント＞

①収益性の高い国内通信事業拡大
②グローバル・モバイルの需要拡大
③政府系事業の民間移転
④安全保障分野での事業

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

事業領域：国内通信・運用管制受託など

■ 官公庁・自治体・企業向けに堅固な通信基盤を提供

- 官公庁・自治体、放送局等の大口顧客に対する衛星回線
- 重要拠点間通信、災害対策・BCP用バックアップ回線の通信基盤

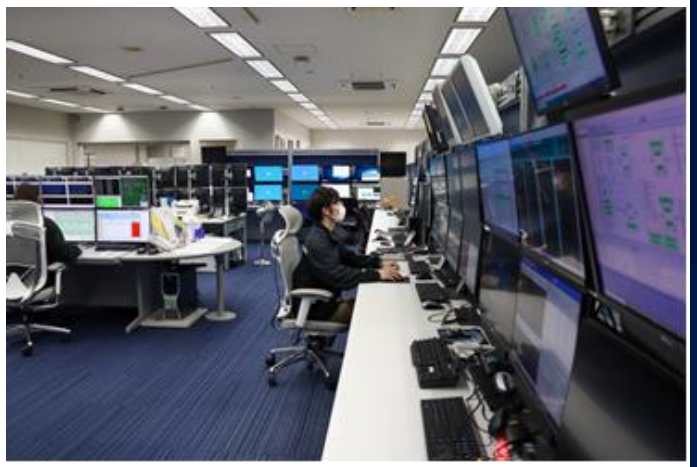
■ 携帯キャリア向け携帯基地局バックホール回線を提供

- 携帯電話基地局と基幹網を結ぶ衛星回線の需要増
- 離島や山間僻地の衛星バックホール回線
- 災害対策としての携帯移動基地局向け衛星回線

■ 衛星運用管制等の受託サービスを提供

- 防衛省きらめき１/２号機調達・運用
- 総務省C帯衛星監視設備の整備・運用
- JAXA衛星追跡管制ネットワークの運用監視

写真：災害現場の携帯移動基地局



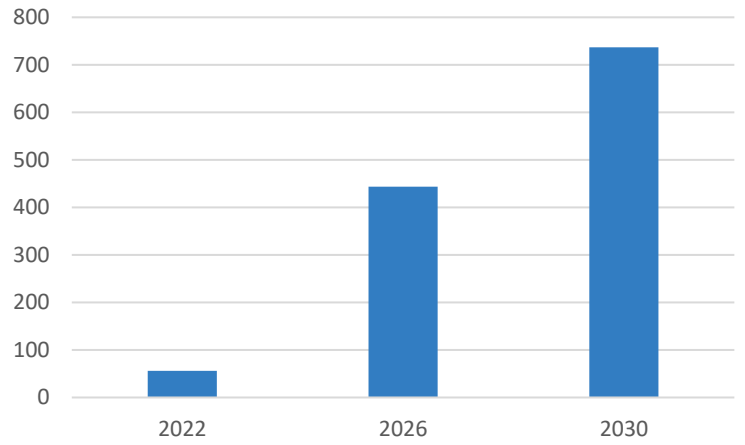
写真：横浜衛星管制センター内管制室

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

■ アジア太平洋・北米中心にグローバル事業展開

- Intelsatと共同でHorizonsシリーズ衛星保有
- 東南アジアでの静止衛星の需要が急増

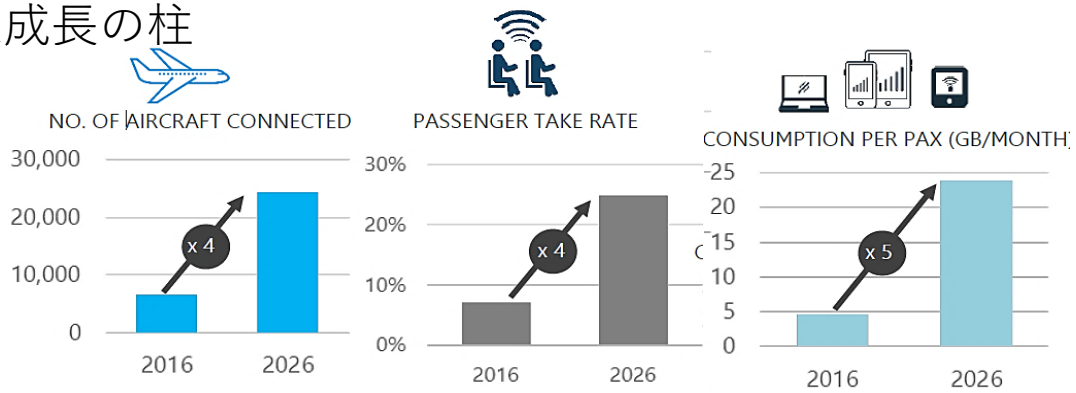
【東南アジアにおける静止衛星需要予測 [Gbps]】



出所：Satellite Connectivity and Video Market 30th Edition ©2023 Euroconsult

■ 航空機・船舶向けブロードバンド回線需要が拡大

- 当社衛星を使って機内Wi-Fiを提供
- 機内Wi-Fiはビデオストリーミングの需要 拡大で将来成長の柱



出典：Euroconsult, 2017.05 "PROSPECTS FOR IN-FLIGHT ENTERTAINMENT AND CONNECTIVITY"

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

衛星通信事業の拡大

月	宇宙探査用通信
静止軌道（36,000km）	静止衛星通信 －HTS※1 －SDS※2 －光データ中継
低軌道（~1,000km）	低軌道衛星通信
成層圏（20km）	HAPS※3通信
地上・海	地上局サービス インフラ運用受託

拡大

拡大

拡大

新領域事業の推進

エンドユーザー
政府、自治体、民間企業、研究機関

※1　HTS：High Throughput Satellite
※2　SDS：Software Defined Satellite
※3　HAPS：High Altitude Platform Station（高高度プラットフォーム）

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

衛星通信の**拡大**

NTTとの合弁会社㈱Space Compassと新たな宇宙インフラ構築を目指す

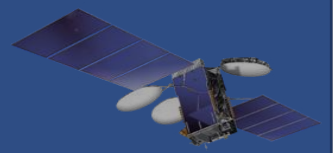
＜主な事業内容＞

・宇宙データセンタ事業：
宇宙におけるコンピューティング基盤

・宇宙RAN事業：
Beyond5G/6Gのコミュニケーション基盤

宇宙事業のビジネス領域

衛星通信事業の拡大

月	宇宙探査用通信
静止軌道（36,000km）	静止衛星通信 －HTS※1 －SDS※2 －光データ中継 
低軌道（~1,000km）	低軌道衛星通信
成層圏（20km）	HAPS※3通信
地上・海	地上局サービス インフラ運用受託

拡大

新領域事業の推進

Orbital Lasers
・スペースデブリ除去事業
・衛星ライダー事業
©スカパーＪＳＡＴ

宇宙状況把握（SSA）

地球観測
・衛星データの活用
・クラウド基盤の構築

エンドユーザー
政府、自治体、民間企業、研究機関

※1　HTS：High Throughput Satellite
※2　SDS：Software Defined Satellite
※3　HAPS：High Altitude Platform Station（高高度プラットフォーム）

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

■ **地球観測市場の成長: 市場規模は40億ドル(2022年)から70億ドル (2030年)※ へ急成長**

※出所：EUROCONSULT　Earth Observation Data & Services Market 2023

■ **データ活用技術の高度化: AI技術を組み合わせるなど、衛星データの付加価値向上競争が激化**

光学

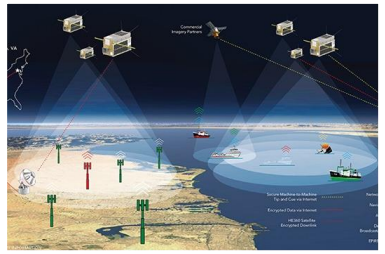
一般的な写真と同様、可視光線を使った観測。

SAR

マイクロ波の反射を観測して地形を調べる。昼夜天候を問わず観測可能。

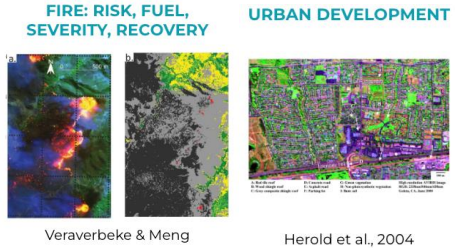
電波

地上から発信される各種RF信号を捉え、信号の発信位置を特定。



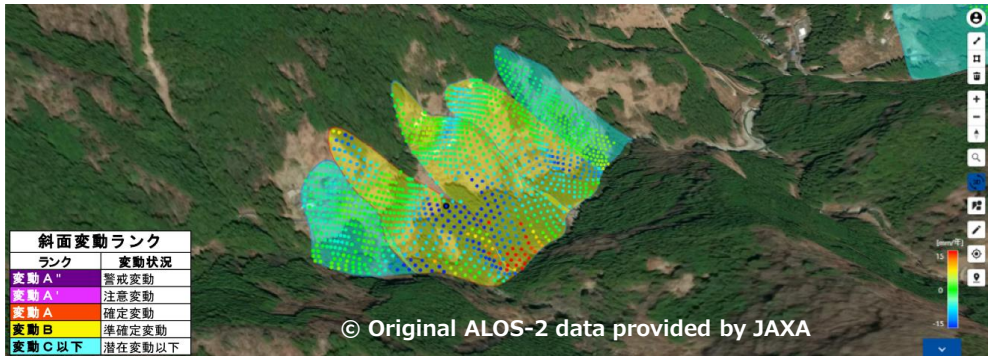
Hyperspectral

従来より詳細に物質を識別。環境、農林水産、防災等の様々な分野への活用が期待。



■ **衛星データを活用したサービス**
斜面/インフラモニタリングサービス『LIANA』

ゼンリン・日本工営と協業し、サービスを提供中

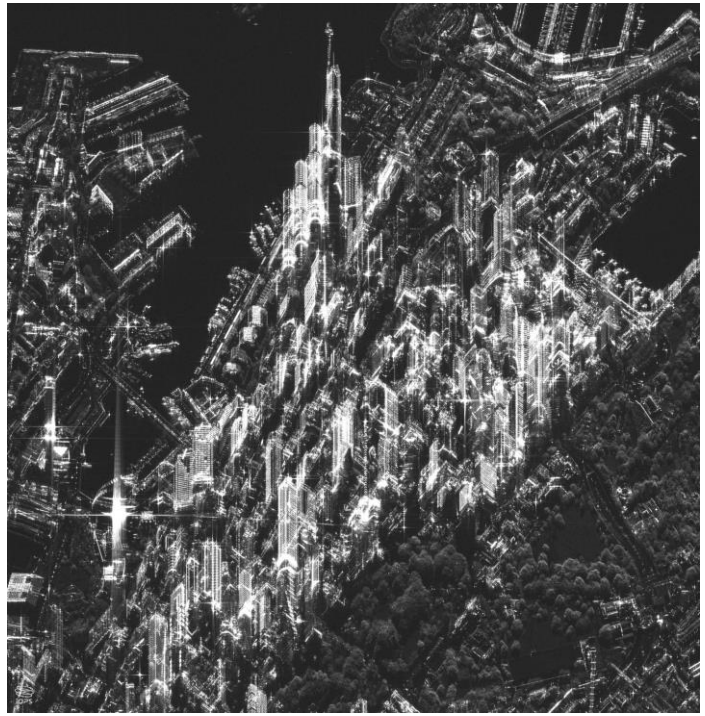


© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

QPS研究所と連携強化
小型SAR衛星コンステレーション活用事業を推進

㈱QPS研究所は、電波で地表を撮像するSARを搭載する小型衛星を開発・製造。
準リアルタイム地上観測データの提供を目指し、36機の小型SAR衛星コンステレーション構築を推進中。

- 2023年12月、東証グロース市場に上場
- QPS-SAR6号機（2023年6月打ち上げ済み）
  - サービス提供開始
- QPS-SAR5号機
  - 2023年12月　打ち上げ成功
  - 2024年 1月　初画像（ファーストライト）取得に成功
  - 2024年 2月　高精細モード（スポットライトモード）による日本最高※分解能46cmの画像取得に成功



QPS-SAR5号機「ツクヨミ-I」によるスポットライトSAR画像
＜オーストラリア　シドニー＞

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

衛星通信事業の拡大

月	宇宙探査用通信
静止軌道（36,000km）	静止衛星通信 －HTS※1 －SDS※2 －光データ中継
低軌道（~1,000km）	低軌道衛星通信
成層圏（20km）	HAPS※3通信
地上・海	地上局サービス インフラ運用受託

拡大

新領域事業の推進

Orbital Lasers
・スペースデブリ除去事業
・衛星ライダー事業
©スカパーＪＳＡＴ

エンドユーザー
政府、自治体、民間企業、研究機関

※1　HTS：High Throughput Satellite
※2　SDS：Software Defined Satellite
※3　HAPS：High Altitude Platform Station（高高度プラットフォーム）

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

新規事業

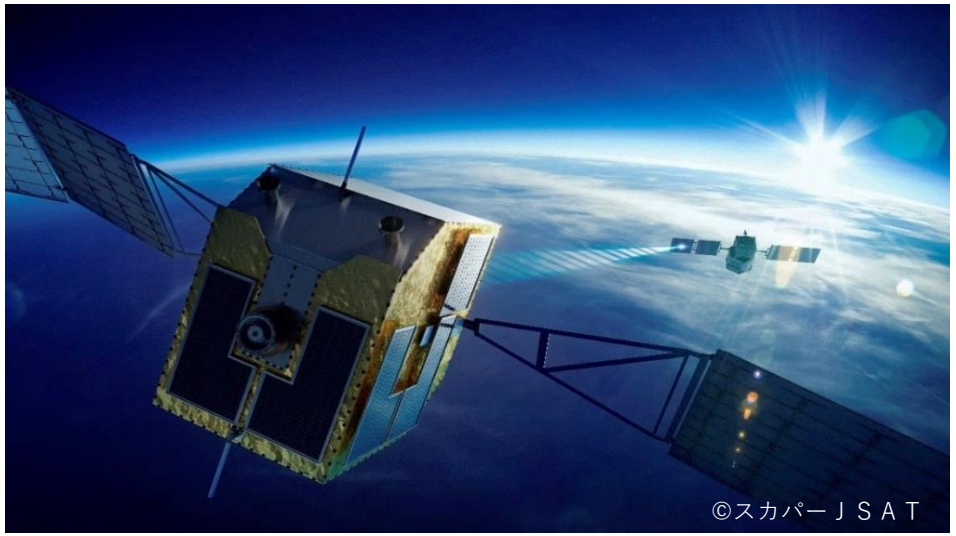
理化学研究所との共同研究を経て、民間企業で世界初の商用利用に向け、レーザーを用いたスペースデブリ除去事業、衛星ライダー事業開始

社名：株式会社Orbital Lasers

所在地：東京都港区赤坂

設立： 2024年1月12日

株主：スカパーＪＳＡＴほか



主な事業内容：

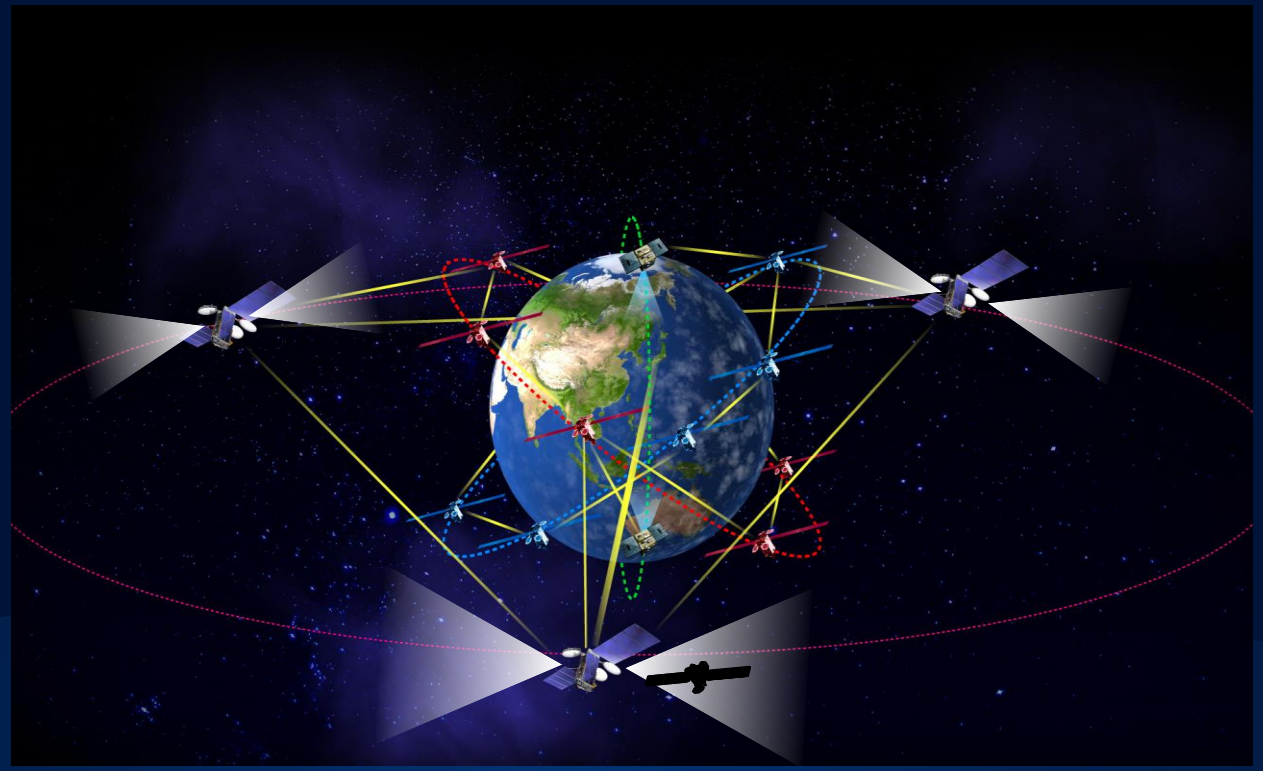
- **スペースデブリ除去事業**
  - ・DTB（Detumbling）事業
    スペースデブリの回転を止めるペイロードの開発・販売（2025年度予定）
  - ・ADR （Active Debris Removal）事業
    スペースデブリを除去するサービス（2029年度予定）
- **衛星ライダー（LiDAR：Light Detection and Ranging）事業**
  - ・地球観測事業
    衛星ライダーによる高精度な地表面情報の取得・提供（計画中）

Orbital Lasers

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

新規事業

宇宙ビジネスの知見・実績を活かした安全保障分野への取組み



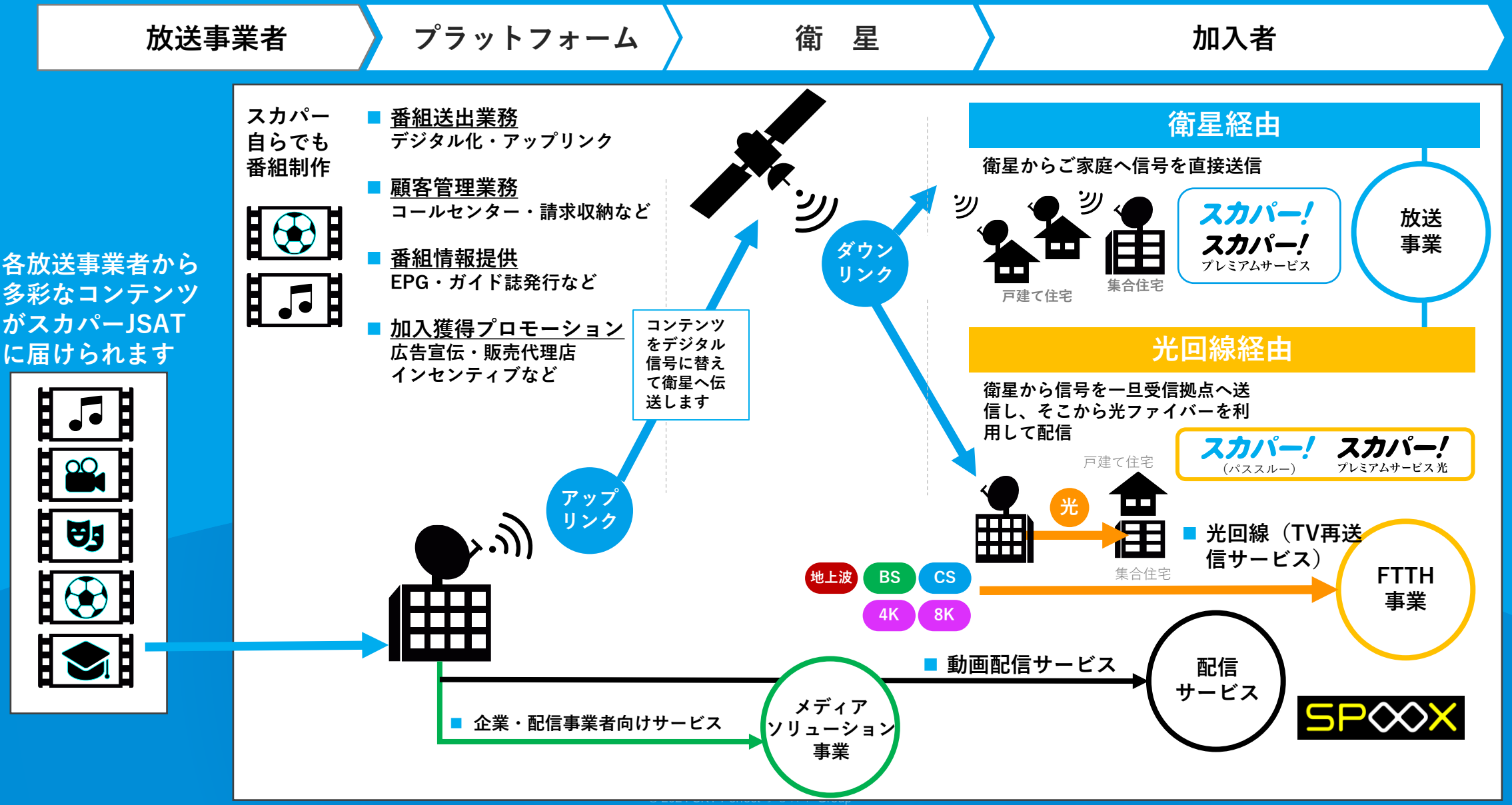
当社の貢献分野	宇宙からの情報収集	衛星コンステの構築	宇宙の状況把握	宇宙システム抗たん性強化

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

MEDIA
メディア事業

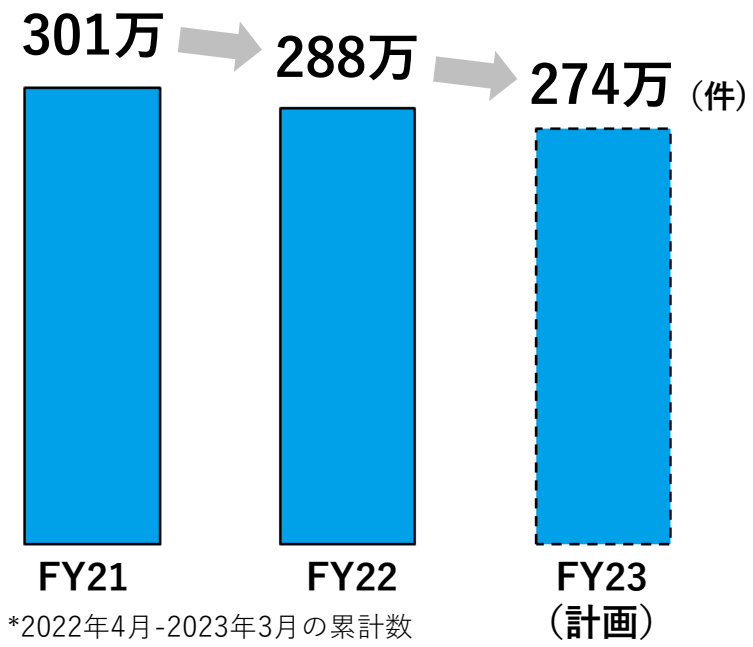
メディア事業のビジネスモデル



スカパー！
有料多チャンネル放送 累計加入件数（IC数）

※3サービス合計

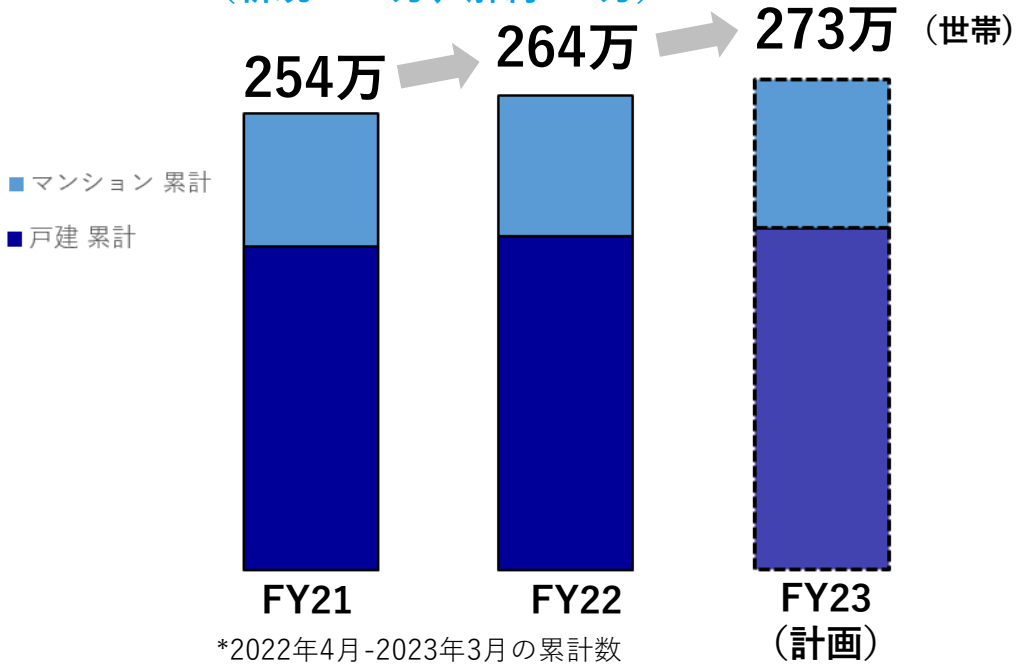
△13万件
（新規+57万件、解約△70万件）*



*2022年4月-2023年3月の累計数

FTTH
地上波等光再送信サービス 接続世帯数

＋10万
（新規＋18万、解約△9万）*

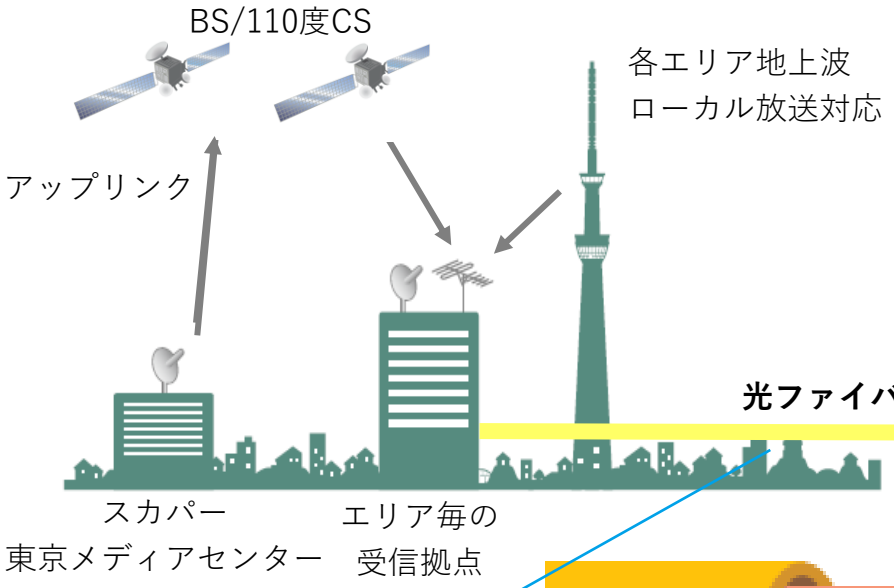


*2022年4月-2023年3月の累計数

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

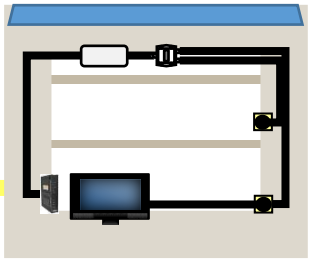
FTTH：光回線を経由した再送信サービス

- 戸建・マンション向けに光回線サービス上で地上波・BS・CS放送等を再送信
- 提供エリアは37都道府県、世帯カバー率76%まで順調に拡大

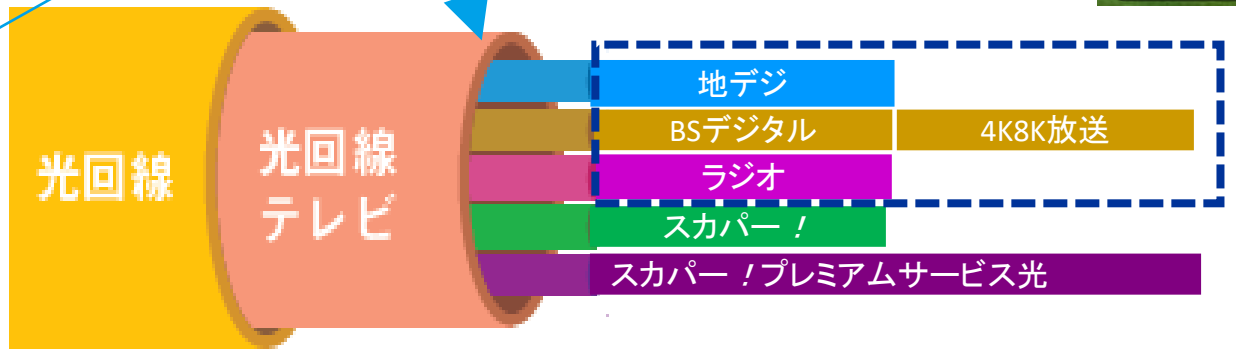


販売は
大手携帯キャリアショップ
等

アンテナ不要



費用：
通信事業者への回線料等



© 2024 SKY Perfect J S A T Group

CTV事業
『コネクテッドTV』早期実現へ

融合

放送体験の提供
地上波/4K・8K
BS/CS
FTTH　DTH

配信体験の提供
無料AVOD
有料SVOD/TVOD

自社開発ドングル

SPOOX 有料動画配信サービス
バリュープラン：月額990円(税込)
その他、月額送品や単品商品もラインナップ
Ex)サッカーLIVE:：月額2,480円（税込）

メディアソリューション事業
（メディアHUBクラウド等）

サービスプロバイダー

コンテンツプロバイダー

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

1. スカパーＪＳＡＴの会社概要
2. 事業紹介
3. サステナビリティ
4. 株主還元

『地球と生きる』

カーボンニュートラル達成を2030年から2025年度に前倒し

2021年度

30%

2023年度

99.55%到達

2025年度までに

100%

を目指す

宇宙事業 主要拠点

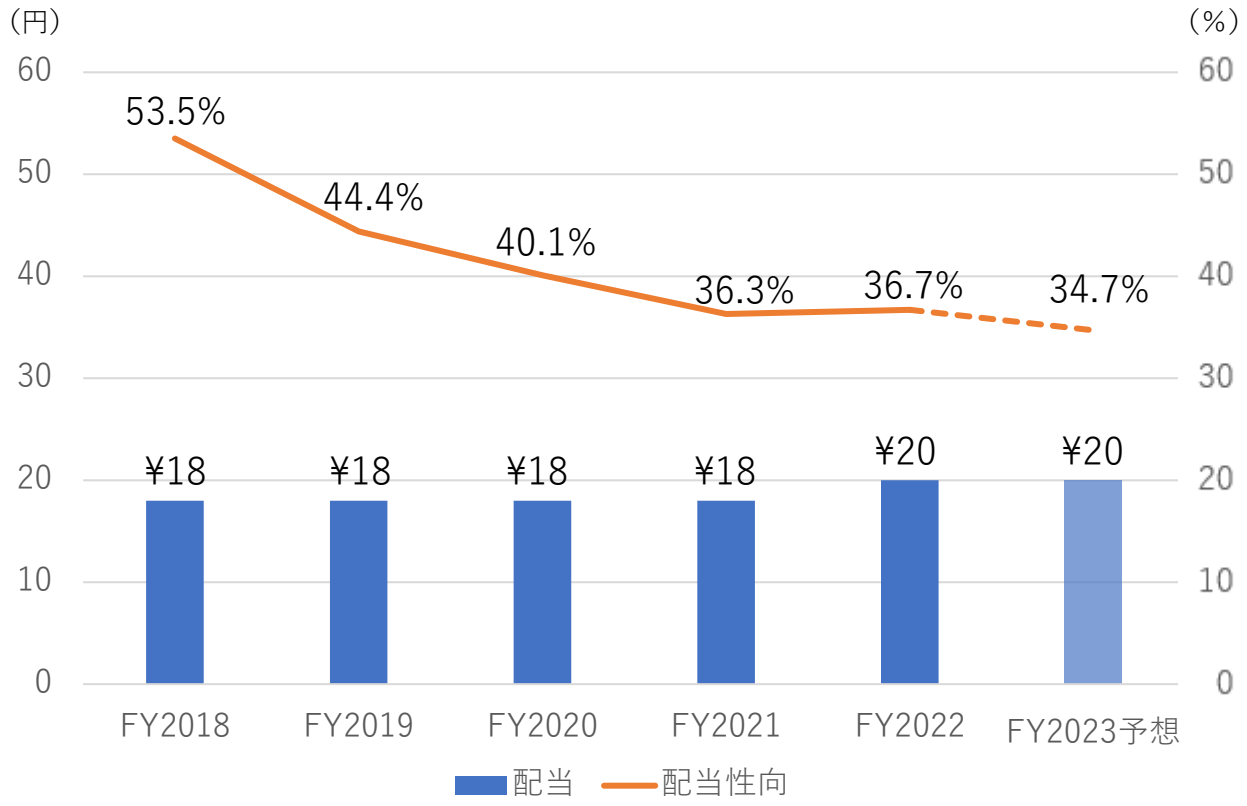
メディア事業 メディアセンター
国内グループ会社拠点
（一部拠点は2024年に切り換え予定）

© 2024SKY Perfect J S A T Group

1. スカパーＪＳＡＴの会社概要
2. 事業紹介
3. サステナビリティ
4. **株主還元**

2022年度から5年間は、基礎収益力向上のための投資期間と位置付け、安定配当に加え、機動的な自己株式取得とあわせて400億円の株主還元を行う

【配当推移】



*FY2022配当性向は通期業績予想ベース

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

株価の推移

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

未知を、
価値に。
宇宙実業社
スカパーJSAT

参考資料

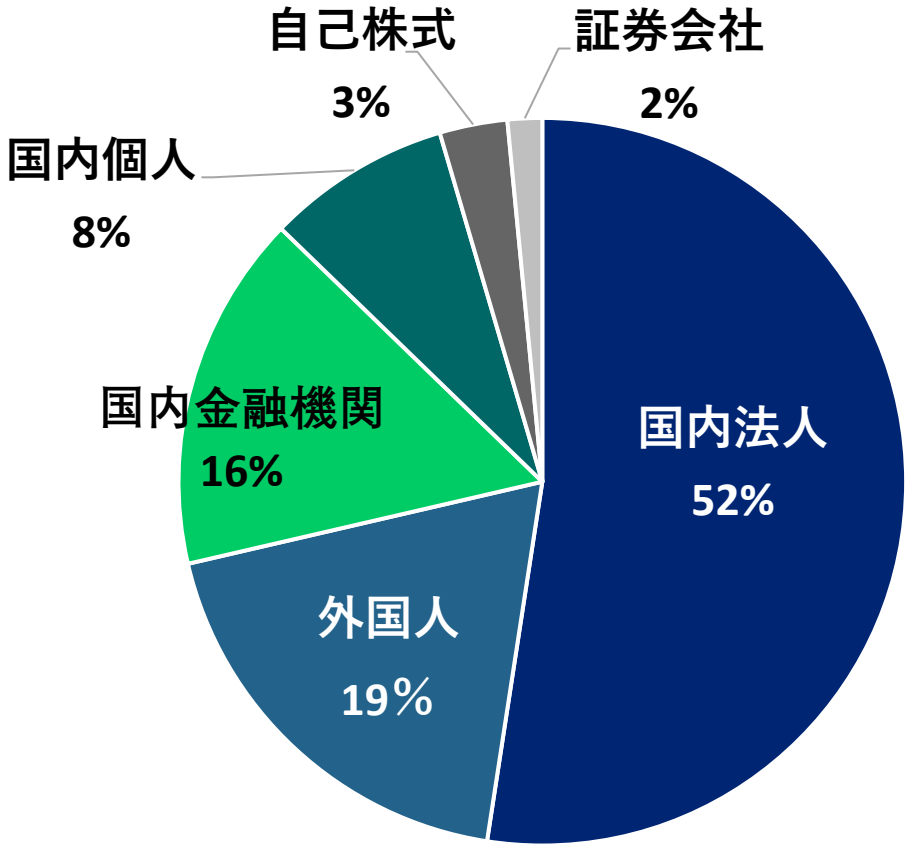
＜主要株主＞

（2023年3月31日現在）

社名	持株比率 (%)
伊藤忠・フジ・パートナーズ	26.36
日本マスタートラスト信託銀行（信託口）	9.51
エヌ･ティ･ティ・コミュニケーションズ株式会社	8.97
日本テレビ放送網株式会社	7.19
株式会社TBSホールディングス	6.35

（注）当社は自己株式を6,933,124株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております

＜株主構成　保有比率＞

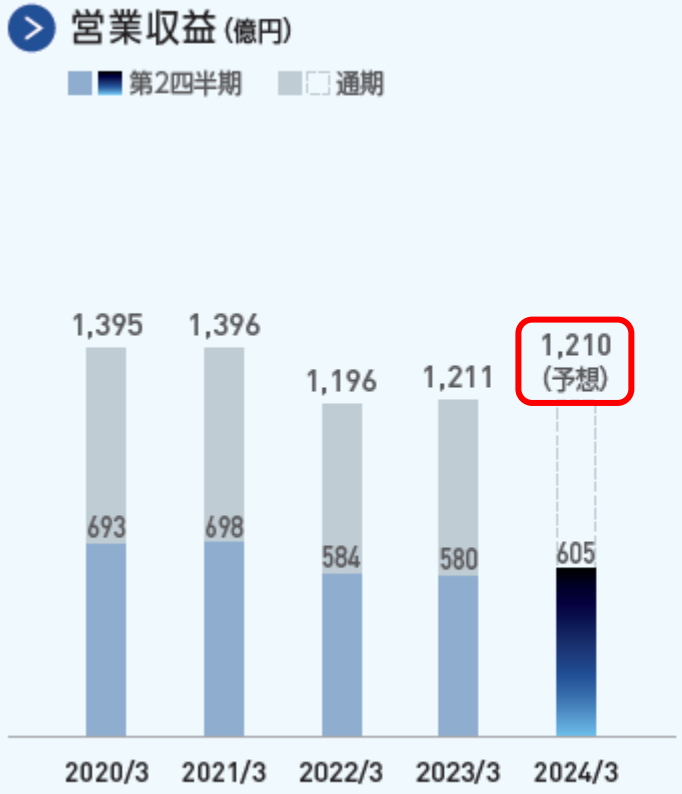


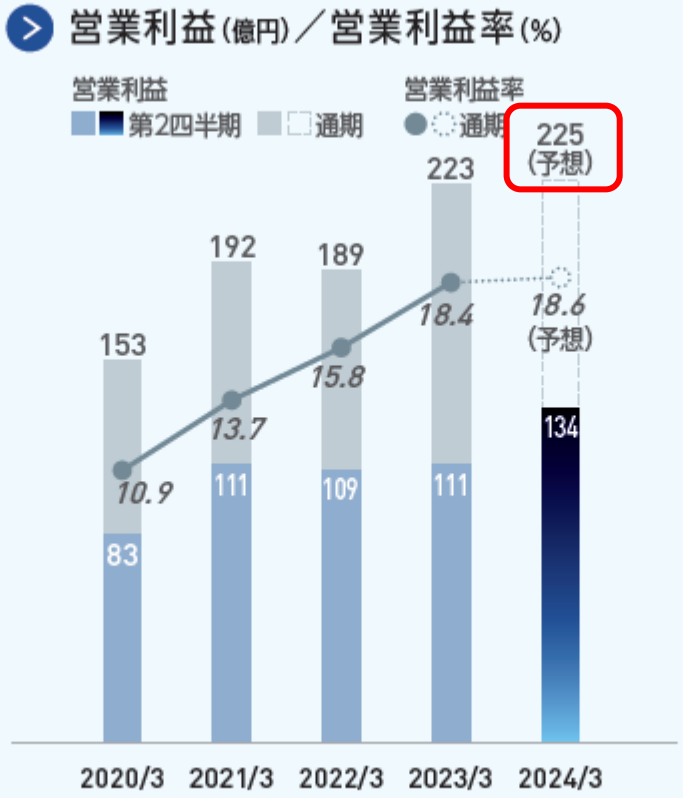
役員持株数　：1,059,356株　取締役、監査役、事業会社の執行役員
従業員持株数：1,204,190株　46%の正社員が加入

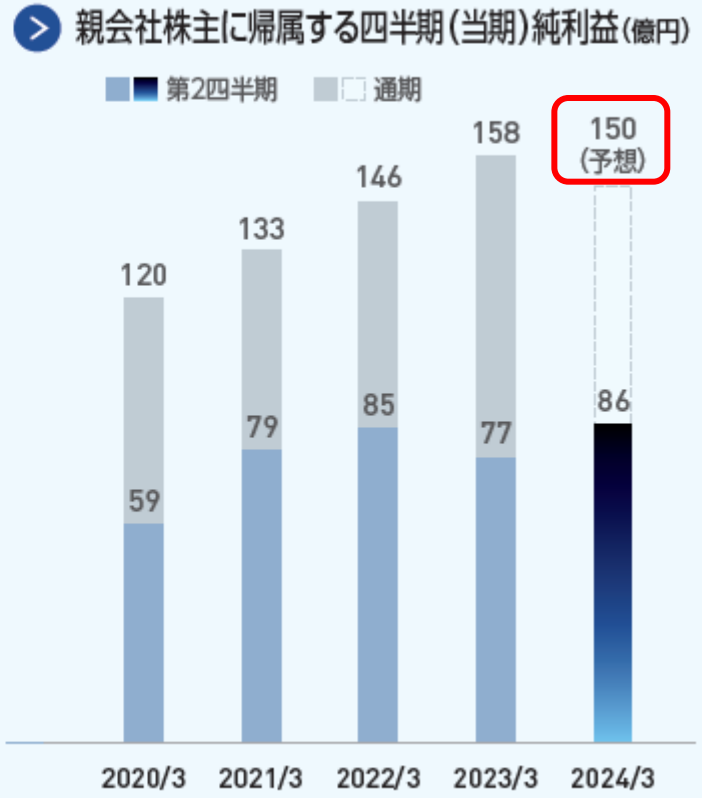
（2023年3月31日現在）

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

業績推移と今年度通期予想







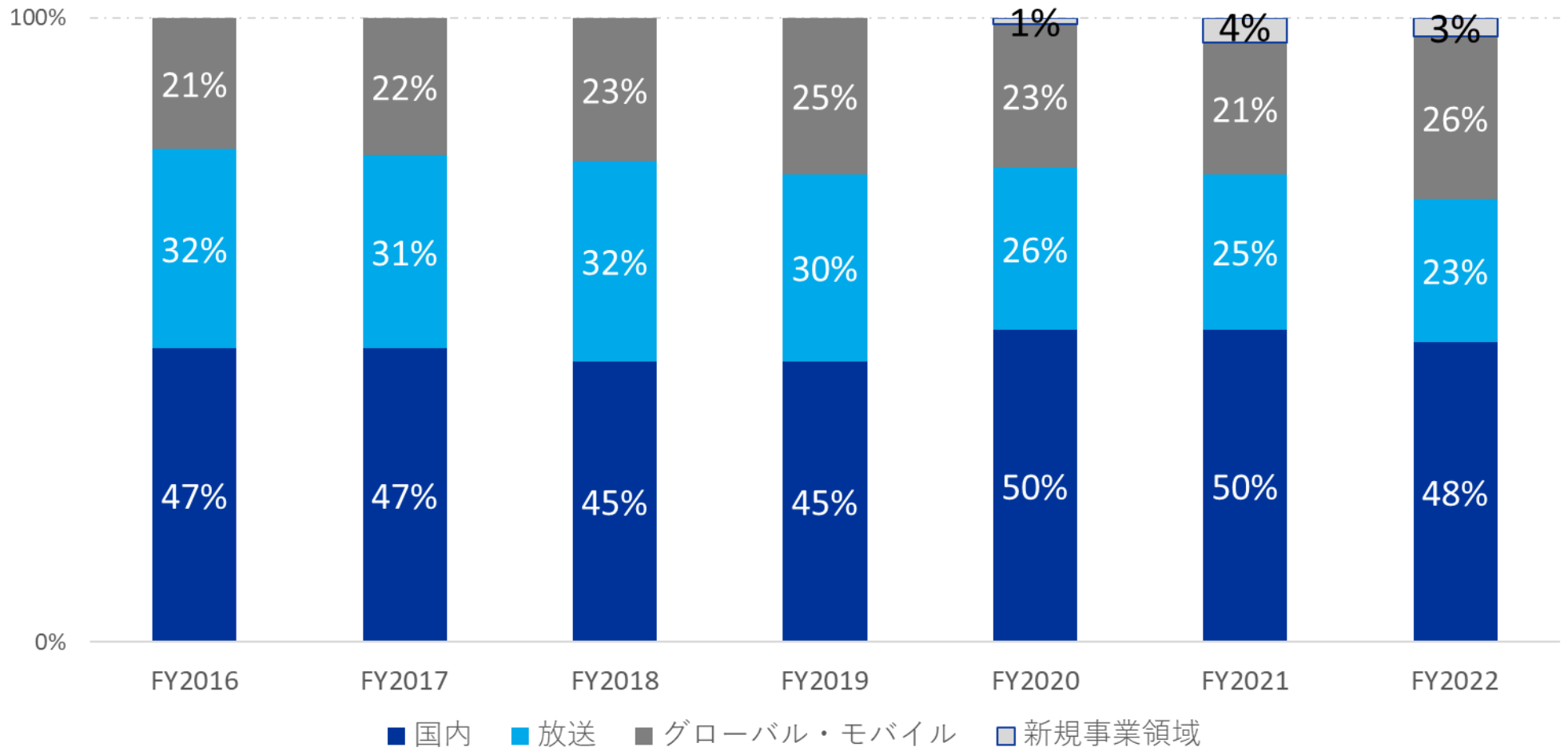
2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用しています。

※上記業績数値は全て切り捨て表示。

（注）2021年度から「収益認識に関する会計基準」等を適用。営業収益を含む経営指標等はすべて当該基準を適用した後の数値。

© 2024 SKY Perfect J S A T Group

宇宙事業 営業収益構成比



※2016年度、2018年度の防衛省向け通信衛星売却の影響を除く
※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用
※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内から新規事業領域に組み替えて再計算

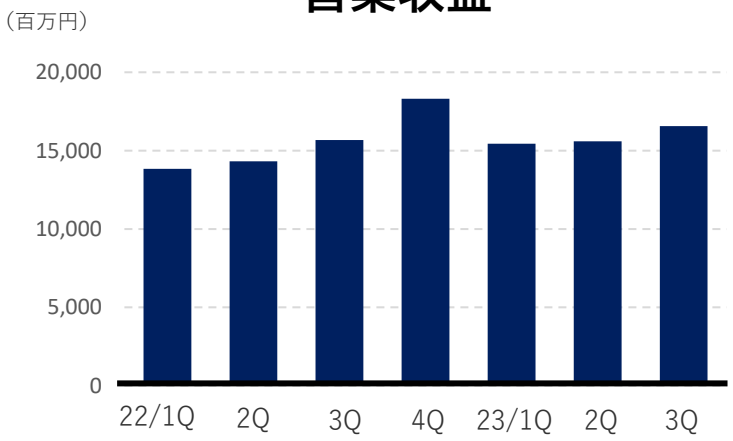
© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

セグメント別四半期業績

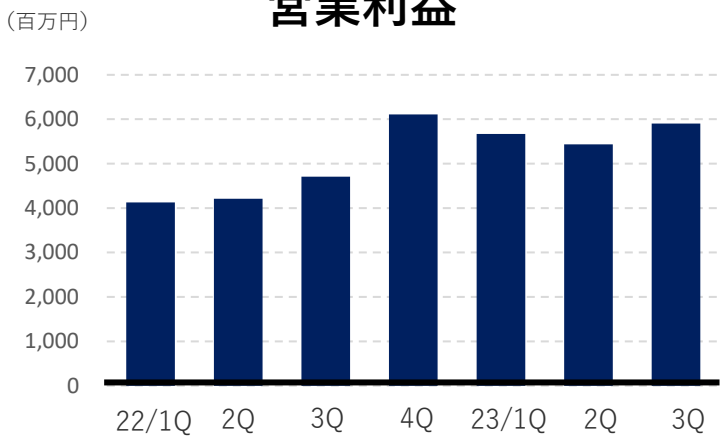
宇宙事業

＊各数値はセグメント間の内部取引を含む。

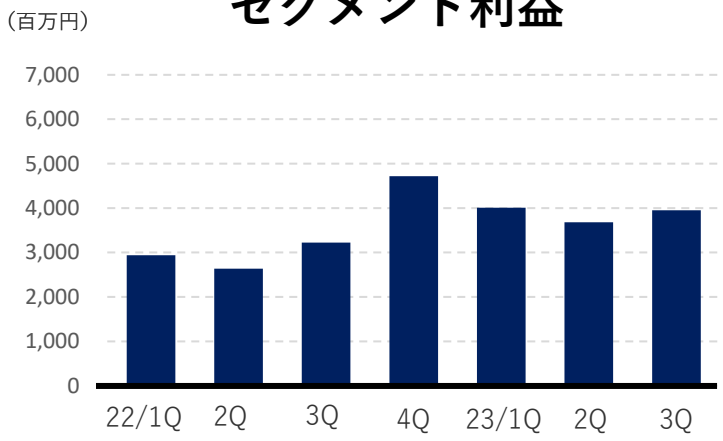
営業収益



営業利益

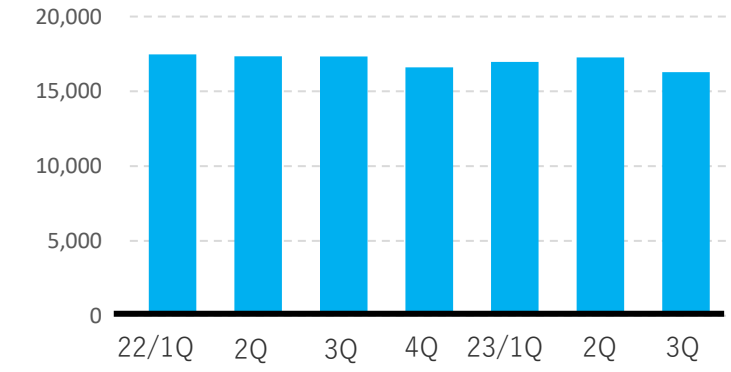


セグメント利益



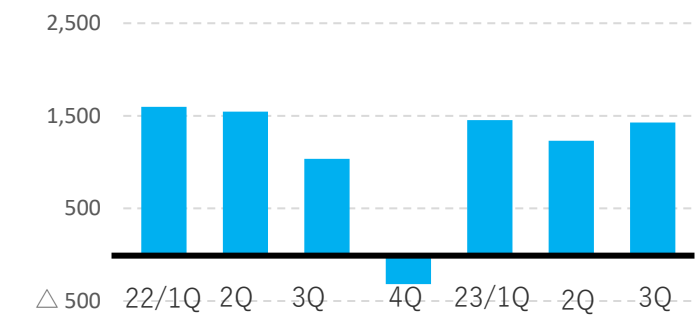
メディア事業

営業収益

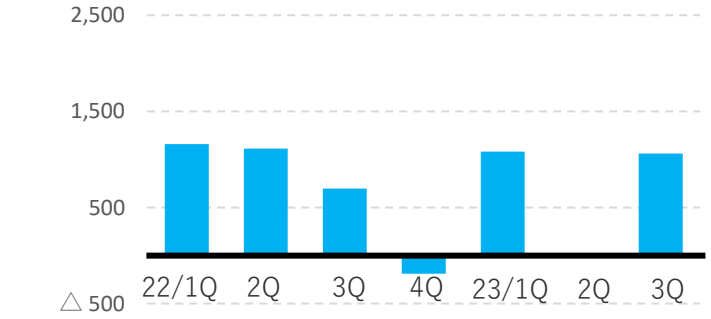


営業利益

メディア事業は4Qに販促費等
営業費用の水準が高い傾向



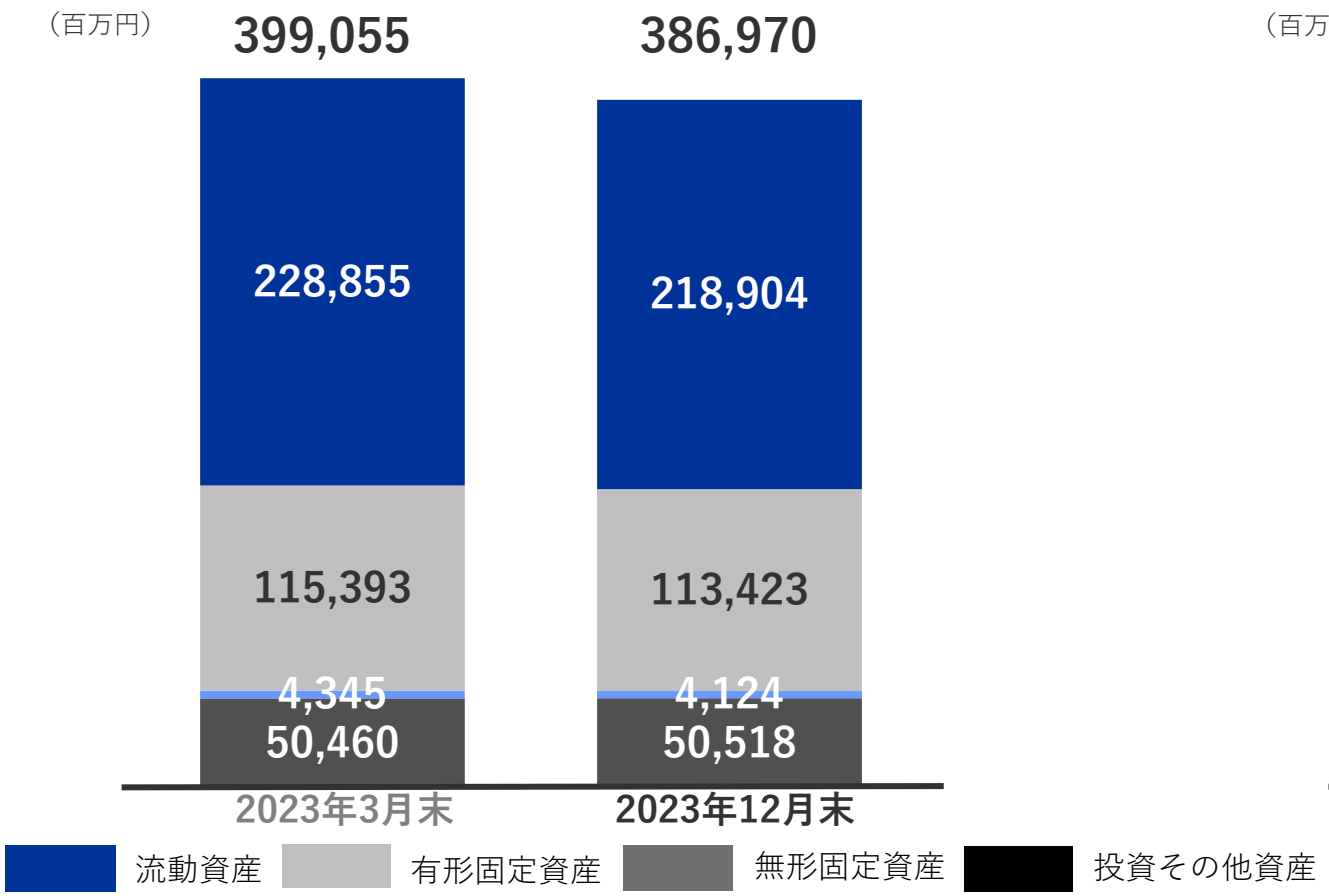
セグメント利益



© 2024 SKY Perfect JSAT Group

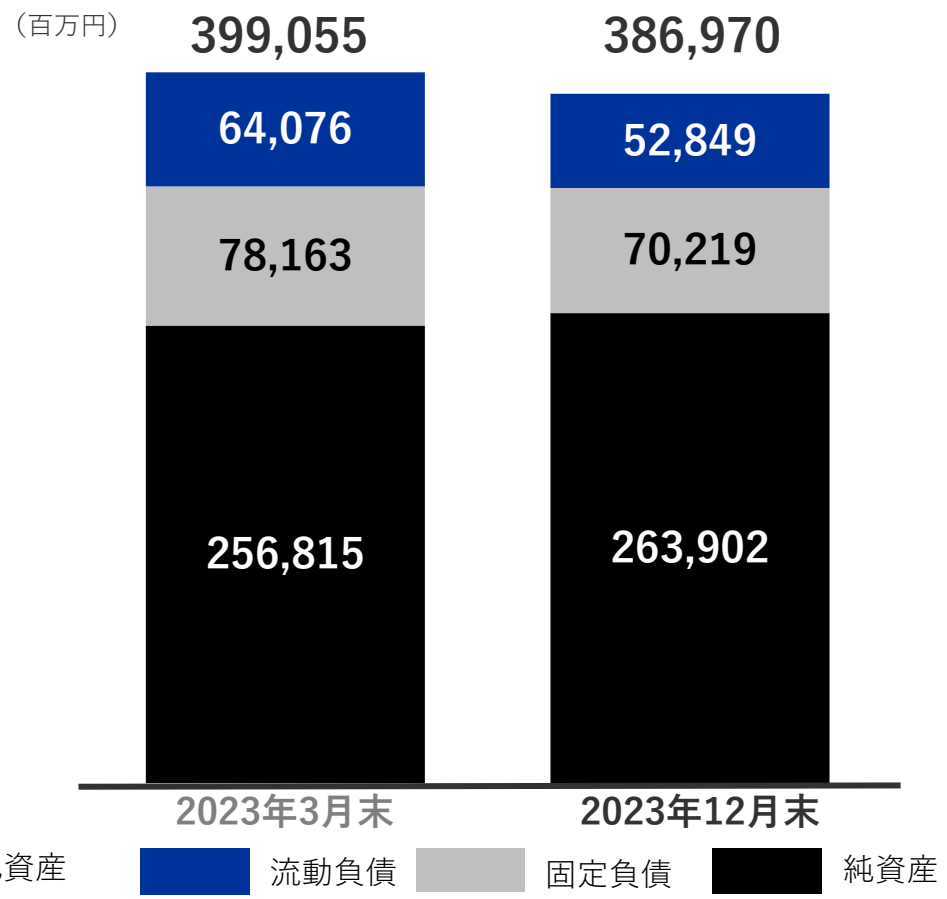
連結貸借対照表

資　産



負債・純資産

自己資本比率： 64.0% → 67.8%



© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

連結キャッシュ・フロー

（百万円）

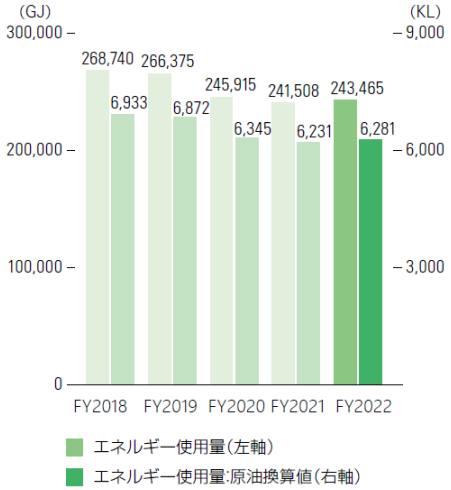
	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,962	23,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,923	△8,755
フリー・キャッシュフロー (*1)	26,039	14,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,773	△20,409
現金及び現金同等物の四半期末残高(a)	94,311	102,839
有利子負債四半期末残高 (*2) (b)	74,575	65,870
純有利子負債四半期末残高 (b)－(a)	△19,735	△36,968

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー
*2. 借入金＋無担保社債

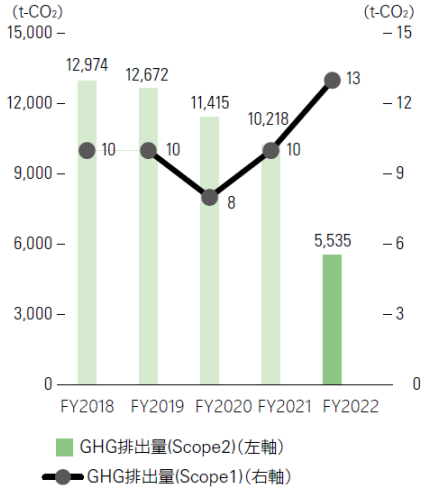
© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

ESGデータ※スカパーJSAT㈱単体での集計（廃棄物総排出量を除く）

エネルギー使用量



GHG排出量



廃棄物総排出量

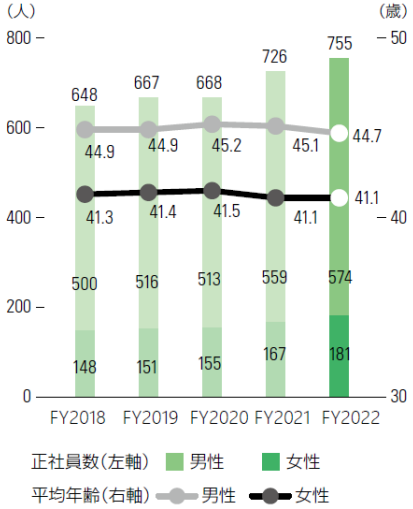
2022年度（2022/4/1～2023/3/31）	(t)
産業廃棄物等総排出量計	94,214
一般廃棄物等総排出量計	43,694
総排出量合計	137.908

(株式会社スカパーJSATホールディングス及び国内連結子会社のうち株式会社スカパー・カスタマーリレーションズを除く一部)

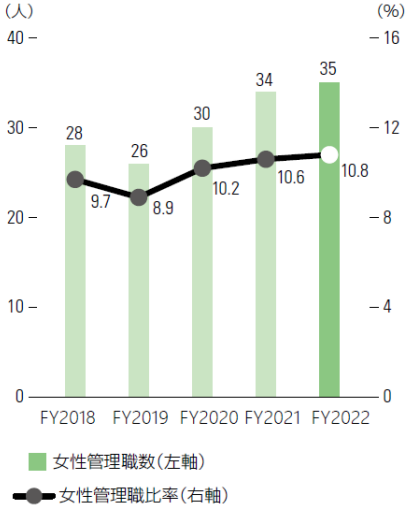
Scope1: 温室効果ガスの排出源からの直接的な大気中への温室効果ガスの排出量
Scope2: 他者から供給を受けた電気、熱の利用により発生した電気、熱の生成段階でのCO_2排出量
(サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(環境省・経済産業省))
GJ(ギガジュール：エネルギー量の単位)、t-CO_2(重量トン：エネルギー使用量をCO_2基準で換算して重量表示)

2022年度実績の各ESGデータは
当社グループサイトにて公開しています。
https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/esg/

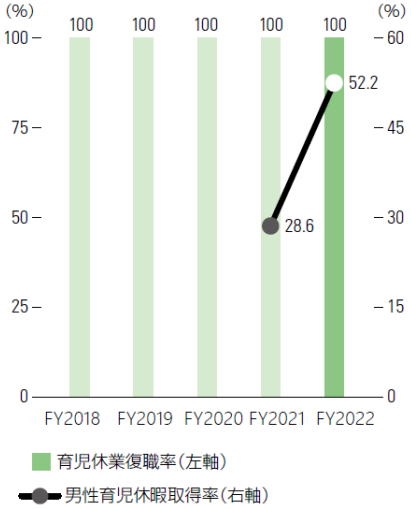
正社員数・平均年齢



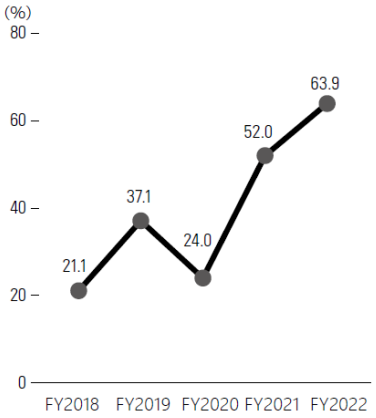
女性管理職数・比率



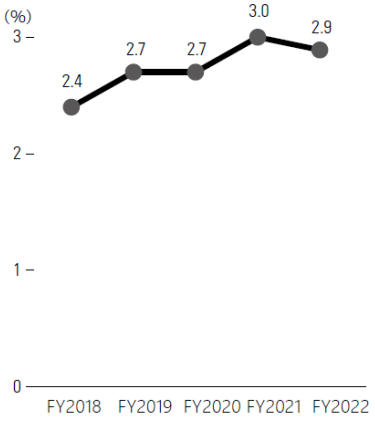
育児休業復職率・男性育児休暇取得率



中途採用率



障がい者雇用率



© 2024 SKY Perfect J S A T Group

将来の見通しに関する記述

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

© 2024 SKY Perfect ＪＳＡＴ Group

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス
広報・IR部

TEL：03-5571-1515
FAX：03-5571-1760
E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

SKY Perfect JSAT Group